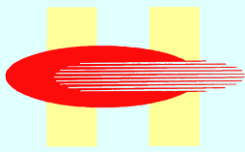




2011-2012年度



千葉東ロータリークラブ 週報



会長 穴倉 壽夫
幹事 加藤 隆

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー
2790 地区ガバナー 山田 修平
第3分区Aガバナー補佐 高山 正孝

第912回例会 2011.10.17(月)

本日のお客様

千葉県のいのちの電話協会 会長 川島 教昭 様
(千葉西RCパスト会長)
大 功 自 動 車 平 亜 茹 様
エヌケーケー(株) 馬 獅 様

会長挨拶

穴倉 壽夫 会長



今日は5年未満の会員向けに午後3時から当クラブをホストとする「ロータリー情報研究会」が開催されました。出席された会員の皆さんは大変ご苦労様でした。

また、幹事の加藤さんには準備の段階から講師の依頼から会場の準備などいろいろとやっていただきありがとうございます。

今日は、千葉西ロータリークラブのP・Pである川島さまの卓話をいただきます。

川島様は、当地区のガバナー補佐を務められるなどロータリー経験の豊富な方ですが、今日の卓話はロータリーの話ではなく、我々の命の問題についてお話しいただくことになりました。我々は悩んだり苦しんだりしますが、他人に聞いてもらうことで悩みや苦しみが軽減されます。そういった役割を「千葉県のいのちのでんわ協会」が社会福祉法人の「命の電話」をサポートしています。その団体の会長が川島様です。川島様には、よろしく

卓話をお願いします。

今日の一口メモです。

先週は、親睦と物質的相互扶助に奉仕の理念が加わったことについて話しました。

今週はその続きです。では、具体的にはどのようなことをしたかということですが、シカゴ・クラブの定款に社会的な行動に関する一条を加えることになりました。1907年・・・ロータリー創設2年後・・・のことです。「シカゴ市の最大の利益を増進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める。」ここに奉仕の理念が組織としての活動に明確に加わりました。そして、ポールハリスは市内に公衆便所がないことに市民が不便を感じているということを知り、奉仕活動を実践するチャンスと捉え、1909年に市の補助金を使って図書館と市役所の横に公衆便所を設置しました。ただ、単に金銭を拠出した団体奉仕活動ではなかったことを申し添えておきます。

今日はここまでとします。

幹事報告

加藤 隆 幹事



◆ 東日本大震災の際五福RCおよびナムソルRCからの義援金で寄贈いたしました発電機がようやく納入されその写真が消防局より届きましたので回覧します。

◆ 千葉若潮RCの幹事が13日付けで駒崎節弥氏に変更になりました。



委員会報告

プログラム委員会 吉田 朋令委員長



来週の例会は守谷のアサヒビールへの職場訪問です。8：50 JR 千葉駅 N T T前集合、9：00 出発です。その後ニューオータニ幕張は9：30 ですのでよろしくお願いいたします。もし、緊急

の事態が発生した時は事務局の携帯までご連絡ください。くれぐれも無断欠席はしないようお願いいたします。

ゲスト卓話

いのちの電話を考える

千葉県いのちの電話協会
会長 川島 教昭 様



「こころの危機をささえる」～「一人で悩まないで」を合言葉に「いのちの電話」は活動しております。平成15年11月より私もこの活動に携わっております。

まず、昨今の自殺状況について申し述べます。日

本において過去12年間自殺者は3万人を超えておりますが、交通事故死等のように大きな社会問題としてクローズアップされないまま見過ごされている感を免れません。

昨今、国の発表により大別すると①心の傷、②喪失感、そして③将来への不安、となっております。特に③が急増していることが問題です。毎年東日本大震災を上回る数の人が自殺しております。③の将来への不安が急増している背景には、人間が利便性、合理性の追求を極めれば不安が増長していくことが考えられます。

すべての生物が種の保存のために気の遠くなるような時間と空間を費やし発展してきたにも拘らず、只一人間はこれに逆行しているのです。こうした状況にあって「いのちの電話」では、少しでも自殺を減らそうと300人超のボランティアが手弁当で、無報酬で頑張っております。この活動を支援していただきたく、本日はお願いに上がりました。

社会福祉法人「千葉いのちの電話」は現理事長で精神科医の日下忠文氏により1989年に開始され、最初から24時間体制で活動しております。以下日下理事長の記述を引用し、その活動状況を報告いたします。

世界的にはボランティアによる自殺予防の活動は1953年11月3日にロンドンで始まり、日本では1961年に本格的に取り組みが始まりました。前述のごとく日本での自殺者は非常に多く、平成10年から年間3万人を超えており、その前の10年間も2万人台です。ちなみに人口10万人に対する自殺者はドイツが13人、イギリスが10人、アメリカ10.7、人イタリア8人に対し日本は15人で先進国の中でも非常に多くなっております。

これに対処するボランティア活動は1963年の精神科には数行の記載しかなく、あまり分からないままボランティア活動が始まりました。その後2000年にアメリカ自殺防止学会で「自殺学創設」が出版され、精神医学の分野でガイドラインが設定されました。これにより医師は身体的、心理的テストをこのガイドラインで患者に対応することが一般的となりました。この時期は、すべ

ての自殺者は精神障害でのうつ病と、うつ状態が関係しているとし、治療法としては甲状腺に機能低下や、脳内の喜びを感じる物質セロトニンの低下が「うつ」の原因となるとしたことから、まず体を治す治療を行っております。

また、うつ病には「だれかが悪口を言っている」という妄想に駆られ、日常では元気なので、周りの人が外見だけで異常を認めない、ということも心理的な歪みとなっております。

そこで環境を重視した心理的、社会的治療が必要となつてまいりました。1967年イギリスで末期がん患者の痛みを取る「スピリチュアリティ」と言う「人間の存在の根源的な問いかけ」がクローズアップされ、科学としての医学と併せて治療を行う「スピリチュアリティケアワーカー」という専門職ができました。

現在、日本でも学会で認定制度が進められており、多くの精神療法の中で科学的療法として実証されております。これは「自己に対する否定的見解」、「将来に対する否定的見解」、「周囲に対する否定的見解」、言いかえると「自分は必要とされていない」という絶望感、この三つが合わさった時に自殺するのではないかという仮説が生まれました。そこで周りの人は「決して見捨てない」という姿勢を示すことが非常に大切で、しかもこれを継続しなければなりません。「千葉いのちの電話」はここに意義を見出して日夜頑張っております。皆様のご支援をお願いします。



穴倉 会長 川島様どうもありがとうございます。いのちの大切さを改めて考えたいと思います。



高山 会員 職業奉仕月間に「職業奉仕の心と原点」と題しての基調講演を主とするR情報研究会を無事終えることができました。本日は川島PP卓話ありがとうございました。



李 会員
本日3時より、入会5年未満の会員を対象とする情報研究会に参加し、とても有意義な研究会でした。



飯田 会員 川島様ありがとうございました。私も電話をしないようにしたいと思います。できればご協力したいですね。



佐藤 会員 11月13日(日)正午より稲毛新聞創刊15周年記念パーティーをグリーンタワー幕張で開催します。都合のつく方のご出席をお願いします。



千葉西RC川島教昭 様

いのちの電話、卓話させていただきありがとうございました。



曾我 会員

川島さん、ありがとうございます。



吉田(宏) 会員

川島会長、本日は貴重なお話をいただきありがとうございました。



鳴海 会員

ロータリー情報研究会へ参加してまいりました。
非常に為になりました。

計 32,000円

累計 ¥496,000円+50\$(Singapore)

発行 千葉東ロータリークラブ 会報委員長 吉田 宏一

創立：1991年1月21日

認証：1991年3月6日

例会場：ホテルニューオータニ幕張

点 鐘：毎月曜日 18:30~

事務局：千葉市稲毛区穴川3-5-27上総ビル 303 TEL 043(251)2790 FAX 043(251)2726

HP <http://www.chiba-higashi.jp/>

Email chiba-higashi_rc@jazz.odn.ne.jp